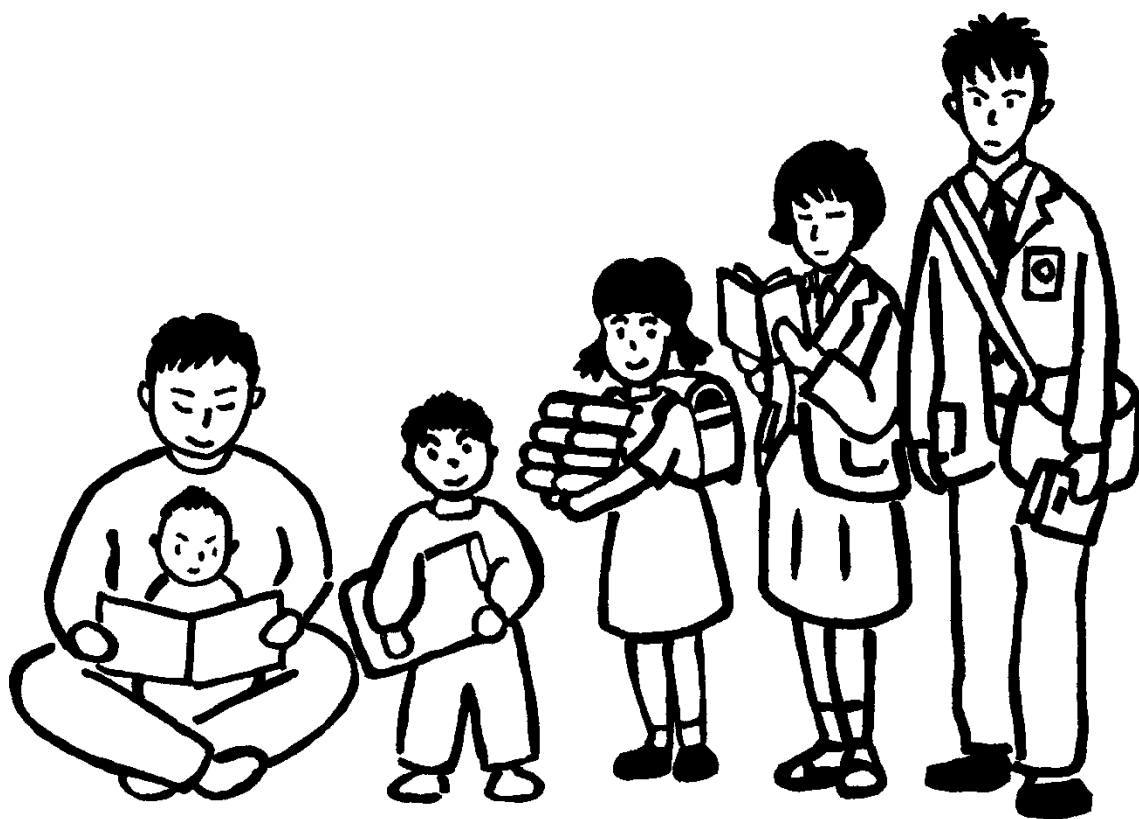


第3次
東村山市子ども読書活動推進計画

平成27年度～32年度



平成27年(2015年)3月
東村山市

はじめに

市では、平成17年に「東村山市子ども読書活動推進計画」第1次計画を、平成22年に第2次計画を策定し、この度、第3次計画を策定する運びとなりました。

この間、情報通信機器の発達が目覚ましいものがあり、情報を得る手段としてスマートフォンが上位に挙がるなど子どもの生活にも著しい変化をもたらしました。一方、本市では、小中学校の先生方等、保護者の皆様や読み聞かせボランティアなど市民の皆様、そして図書館職員などの後押しによって、多くの子どもたちが本と出会い、本に親しみ、読書の楽しみを味わっていることを実感しています。市民の皆様、関係機関の皆様が築いてくださった温もりのある「本と人の輪」による取り組みは、どんなに情報通信機器が発達しても決してそこからは得ることはできない、かけがえのないものと思います。今後もこうした取り組みが東村山の財産として引き継がれるようつとめてまいります。

この計画は、こうした東村山の財産である「本と人の輪」を大切にしながら、皆様とともに子どもの読書体験をさらに豊かにしていくための、向こう6年間の道標となることを願って策定したものです。読書によって子どもの心とことばを育て、子どもが自分で考える力を身につけて新しい時代を生き抜けるように、引き続きご理解ご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

平成27年3月

東村山市長

渡部 尚

目 次

第1章 計画について

1. 計画の考え方	3
2. 計画の目的	3
3. 計画の位置づけ	3
4. 計画の期間	4
5. 第2次計画の成果と課題	5

第2章 計画内容

1. 計画をすすめていく体制	8
2. 市民協働のしくみづくり	9
3. 乳幼児への取り組み	11
4. 小学生・中学生への取り組み	14
5. 高校生等（おおむね16～18歳）への取り組み	18
6. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み	19
7. 東村山の地域性を活かした取り組み	20

資料編

資料1 第2次計画の主な取り組みの実績（平成22年度～26年度）	22
資料2 市立図書館事業一覧	32
資料3 策定のしくみ	36
資料4 意見聞き取りの概要	37
資料5 子ども関連施設アンケート実施先一覧	38
資料6 庁内の計画策定体制	39
資料7 本計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント） の結果について	40
資料8 用語説明	45

第1章 計画について

1. 計画の考え方

- (1) 第3次東村山市子ども読書活動推進計画は、第1次計画および第2次計画の基本理念や目的を継承しながら、第3次計画期間内における子どもの読書推進施策について示しています。
- (2) 本計画は、継続事業が多いこと、ひとつの事業の中に様々な取り組みが含まれていることから、事業の実施年度は明記していません。計画期間内に内容に応じて段階的・継続的に実施します。
- (3) 子どもの読書において目標や成果を数値で計ることは難しい一面もあることから、具体的な数値目標等は示していません。必要に応じて質・量を意識しながらすすめていきます。

2. 計画の目的

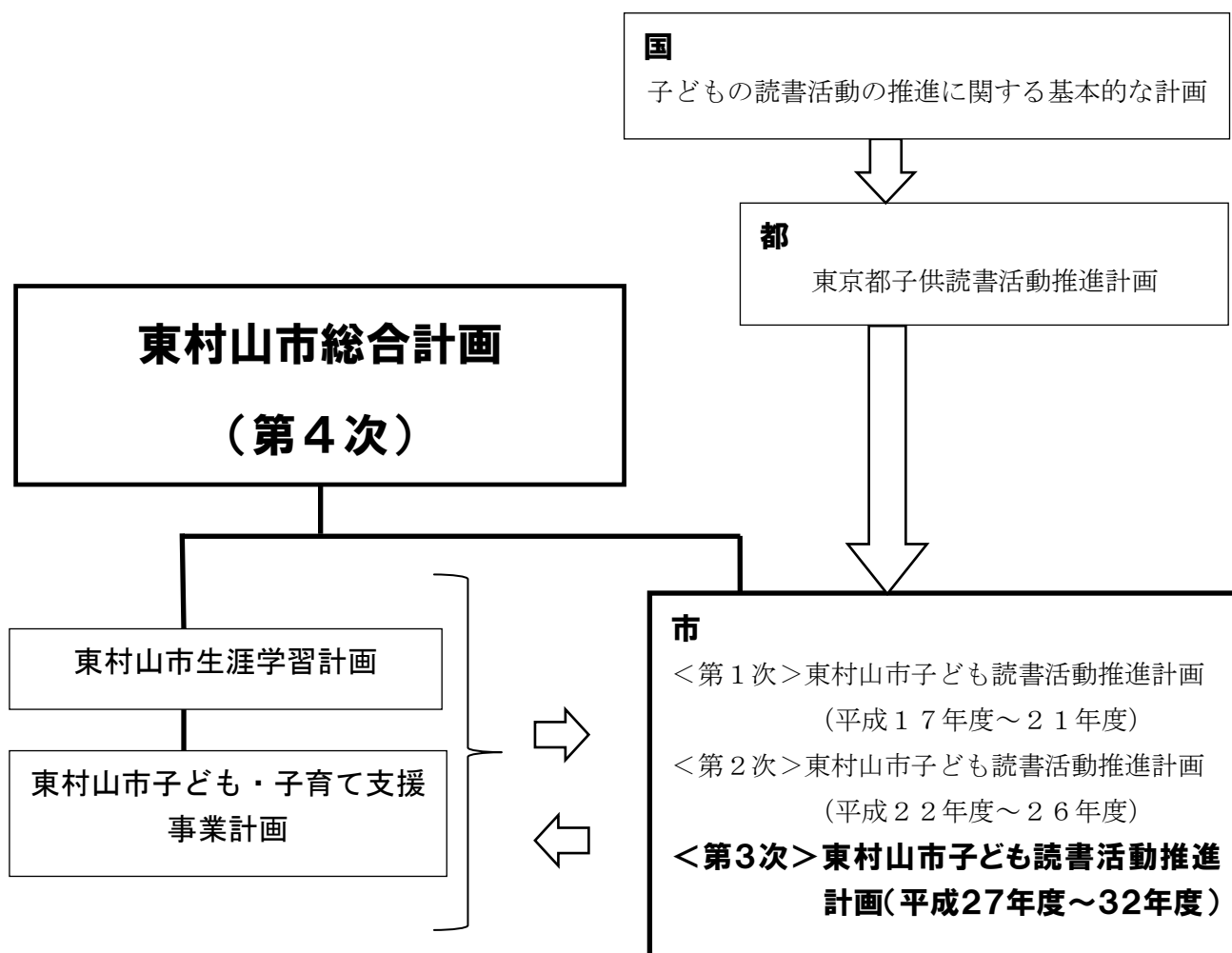
読書は子どものことばと心を育てます。子どもは読書活動を通して、ものごとを深く考え、様々な人の生き方を知り、意思や感情を伝え合うためのことばを身につけ、さらには必要な情報を選択して適切に活用する能力を培うことができます。

第3次東村山市子ども読書活動推進計画においても、第1次計画、第2次計画に引き続き、子ども（0歳～おおむね18歳まで）が自主的に読書に向かうことができるように配慮しながら、読書の楽しさ・大切さを伝え、本に出会うための環境を整えることにより、子どもがよりよく生きていく力を育てることを目的とします。

3. 計画の位置づけ（次ページの図を参照）

- (1) 本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月12日法律第154号）第9条第2項の規定に基づいて、東村山市における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と取り組みの体系を示すものです。
- (2) 本計画は、国の「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成25年5月改定）および東京都の「第二次東京都子供読書活動推進計画」（平成21年3月策定）を基本として策定しました。
*東京都は「第三次東京都子供読書活動推進計画」を策定予定。
- (3) 本計画は、「東村山市総合計画（第4次）」を上位計画とし、子どもの読書活動推進にあたっての総合的な計画として、「東村山市生涯学習計画」や「東村山市子ども・子育て支援事業計画」など関連計画との整合をはかりながら策定しました。

計画の位置づけ（図）



4. 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度～32年度までの6年間とします。

次期の子ども読書活動推進計画は、東村山市の最上位計画である「東村山市総合計画（第5次）」の策定方針や過程・考え方を基本に策定する必要があります。そのため、本計画の終了年度を「東村山市総合計画（第4次）」の終了年度と同じ平成32年度としました。

5. 第2次計画の成果と課題

第1次計画（平成17年度～21年度）は、市立図書館を中心として市内の子どもに関わる部署や施設、そして市民が、「本と人の輪」の中でつながり合うしくみ、連携して子どもの読書を推進するためのしくみをつくった5年間でした。

続く第2次計画（平成22年度～26年度）では、第1次計画期間につくったしくみを整え、軌道に乗せ、広げるための取り組みを行いました。庁内や関連施設との連携事業、市民協働による事業は、単独で行う場合より常に目的や方法を確認し合うことが求められ、立場・役割に応じた活動が必要です。それらを念頭に置きながら、連携・協働体制のもとで行った取り組み、その体制を支えるために行った取り組み、その結果、子どもたちに届けた読書活動についての成果と課題は以下の通りです。

第2次計画の主な取り組み実績は、資料1（*1～8）22～31ページに記載しています。

「子どもと本の人材バンク」の活用とボランティア育成

<成果>

「子どもと本の人材バンク」を活用して、乳幼児、小学生、中学生等に読み聞かせや紙芝居などの読書活動を届けることができた（*1）。また、人材バンク登録者をはじめ、市内の様々な場所で活動するボランティアを育成するために、平成22年度から24年度までは、市民と図書館で構成する実行委員会主催の「子ども読書応援団養成講座」を、25年度からは、図書館主催の「ボランティアのための子どもと本を知る講座」（*2）を実施するなど、多数の参加者が学ぶ機会を提供した。その結果、市内各所で行われたおはなし会の内容が充実した。

主な実績 *1：「乳幼児への読み聞かせボランティア」派遣
*2：ボランティア養成のための講座

<課題>

人材バンクの安定的、継続的な活用をはかるためには、新規募集での人数の確保と研修等による活動の質の向上が求められる。

「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりの充実（乳幼児への取り組み）

<成果>

東村山版ブックスタート事業として、市立図書館のおはなし会の充実、乳幼児親子が訪れる場所への「おすすめ絵本パック」設置（*3）と「乳幼児への読み聞かせボランティア」の派遣を通して、この取り組みを拡大することができた。特に3～4か月児健診などたくさんのスタッフやボランティアが関わる場所での読み聞かせについては、実施マニュアルを整備したり、担当者同士の連絡を密にしたことで、より円滑に行うことができた。

主な実績 *3：「おすすめ絵本パック」設置場所一覧

<課題>

この取り組みを広く市民に周知し、絵本の楽しさ・大切さを伝えることが必要である。また、「おすすめ絵本パック」の活用については更なる工夫が求められる。

学校図書館専任司書の配置

<成果>

長年の課題であった学校図書館専任司書（以下「学校司書」）を平成23年度後期から市立小中学校全校に配置することができた。学校図書館ボランティアによる各校での整備や、平成22年度の学務課・図書館による全校学校図書館整備事業（*4）により、古い本の廃棄、寄贈本の受け入れ、書架サインの設置等がおおむね終了していたため、環境面で学校司書受け入れの素地を整えておくことができた。学校司書は2校兼務で各校週2日の配置であるが、「司書のいる学校図書館」の良さを児童・生徒、教員とも実感することができ、学校での読書活動が格段に充実した（*5）。また、学校司書2名を学校支援担当として中央図書館にも週2日配置し、市立図書館司書とともに、授業で使う本の貸出や図書館便りのフォーマット提供などの支援業務を行った（*6・7）。中央図書館が学校図書館支援センター的な役割を担うことで、全校の学校司書の組織的な活用に効果が上がったと言える。

主な実績

- *4：学校図書館整備事業
- *5：学校図書館活用事例一覧
- *6：市立図書館からの学校図書館支援活動まとめ
- *7：子ども関連施設への図書特別貸出

<課題>

学校司書がどのクラスの授業にも関わり、学校全体の読書推進に寄与するには、週2日の配置では充分とは言えない。平成27年4月に学校図書館法の一部を改正する法律が施行されることとなり、「学校司書」が初めて法律上に位置づけられて、その重要性が再認識された。それを踏まえ、配置の拡大や任用体制の安定化に向けてますます工夫する必要がある。また、学校での読書推進には、学校全体での体制整備や、司書教諭をはじめとする教員への研修・啓発等も求められる。

読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み

<成果>

一人ひとりの特性やニーズに合わせた取り組みを、少しずつではあるがすすめることができた。小さな成果としては、試みとして始めた「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」（*8）が、参加者は少なかったものの、保護者の声や関連施設の助言などを聞く機会となり、今後の取り組みへのステップとなった。また、学校司書を通じて、学校内での特別な支援が必要な子どもの状況を知ることができ、外国語の本や、ことばの発達を促すための本を貸し出しすることでバックアップができた。

主な実績

- *8：「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」

<課題>

本来、読書はどの子どもにとっても、一人ひとりの興味、成長や発達の度合いに合わせて行われるべきものである。読書活動や図書館利用がしにくい子どもに向けても、その時々に応じて必要な支援ができるように、関連施設や保護者とつながりを持ちながらすすめていくことが求められる。また、対象となる子どもや家庭に情報が届くようなPRが不足している。

第2章 計画内容

◆ この計画を市民の皆さんにお知らせし、子どもの読書について関心をもっていただくために・・・

◆ 楽しく読んでいただくために・・・

- ・ 図や写真を入れてイメージしやすくしています。
- ・ なるべくわかりやすい表現になるよう心がけています。

(用語解説は巻末にあります)

◆ 市民の皆さんとともに作った計画であることをお知らせするために・・・

- ・ 写真は、主に市民の皆さんの活動の様子を選びました。
- ・ 「みんなのつぶやき」として、子どもの声や、子どもの読書に関わる人の声を載せました。

(アンケートやボランティア活動記録より抜粋)



ひがっしー (東村山市公式キャラクター)

1. 計画をすすめていく体制

【庁内の体制】

■ 子ども関連部署庁内連絡会（下表●印）

関連部署の課長等が集まり、当計画が順調にすすんでいるか、関連計画との整合がはかられているかを確認し、連携して取り組むことができるように協議します。

■ 学校図書館推進部会（下表◎印）

市立小中学校での読書推進や学校図書館の充実について総合的に協議します。

■ 子ども関連部署庁内担当者部会（下表●印）

関連部署の担当者が集まり、当計画が順調にすすむように具体的な連絡調整をします。

■ 関連部署の役割分担

計画をすすめる上で必要な場合は、下記以外の部署とも連携していきます。

事務局	教育委員会	庶務課	学校図書館の設備・メンテナンス、学校交換便の配送		◎
		学務課	学校図書館用図書購入予算管理、購入展示会等	●	◎
		指導室	学校図書館専任司書配置、専任司書及び教員研修等	●	◎
		教育支援課	特別支援学級、健全育成学習室（希望学級）、教育相談室	●	◎
		図書館	子どもの読書に関わる事業及び支援全般、計画事務局 （参考：現在の図書館事業一覧は巻末の資料にあり）	●	◎
子ども家庭部		子ども総務課	「ころころの森」、子育てひろば等	●	
		子育て支援課	乳幼児健診、乳児学級、ハローベビークラス等	●	
		子ども育成課	幼稚園、保育園等	●	
		児童課	児童館、児童クラブ（育成室）、おひさま広場	●	

【関連施設】

◎ 市内にある民間等の関連施設にこの計画についての理解と協力を求め、連携しながらすすめます。

■ 子ども関連施設（幼稚園、私立保育園・保育施設等）

■ 私立中学校・高等学校、都立高等学校

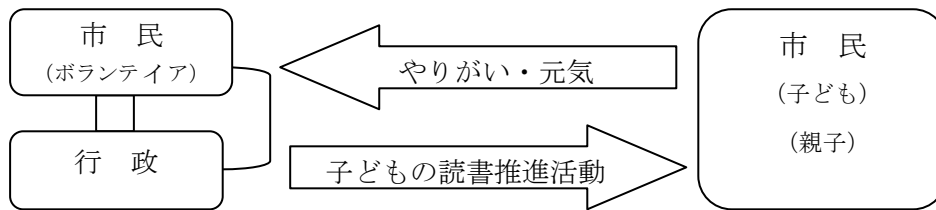
■ 書店等

PRや啓発

- ・ 市民や関連施設等にこの計画の目的や内容について伝えていきます。
- ・ 計画のすすみ具合について、ホームページや『きょういく東村山』等で報告します。

2. 市民協働のしくみづくり

「市内の子どもたちに本の楽しさを届けたい」「自分の経験を地域に活かしたい」という市民がいます。「市民が参加することでより広く事業が展開できる」「市民と一緒に考えて、より市民の求める事業をしたい」という行政の考えがあります。乳幼児への読み聞かせから学校での図書整備や読み聞かせまで、互いに事業の目的、方法、役割を確認しながら協働による取り組みをすすめます。市民と行政の両輪で市内全体の子どもの読書推進に寄与し、市民同士もつながり合い、まちが元気になるようなしくみをつくります。また、そのしくみを維持していくようつとめます。



- 読んでもらう人も楽しく
- 読む人も楽しい
- 市民と市民の出会いの場



「市民健康のつどい」でのおはなし会
 (「乳幼児への読み聞かせボランティア」派遣)



夏休み「子ども読書応援団おはなし会」
 (「東村山うちでのこづち」の活動)

みんなのつばやき

小学校での読み聞かせボランティア
 「道で会った小学生に“あー、読み聞かせのおばさんだ”と声をかけられてうれしかった。読み聞かせがきっかけで、一層子どもたちの安全や成長を願うようになりました」

「東村山うちでのこづち」会長
 「地域の大人が手をつないで、市内の子どもたちの読書を支え、子どもの心を豊かにしたいと思っています」

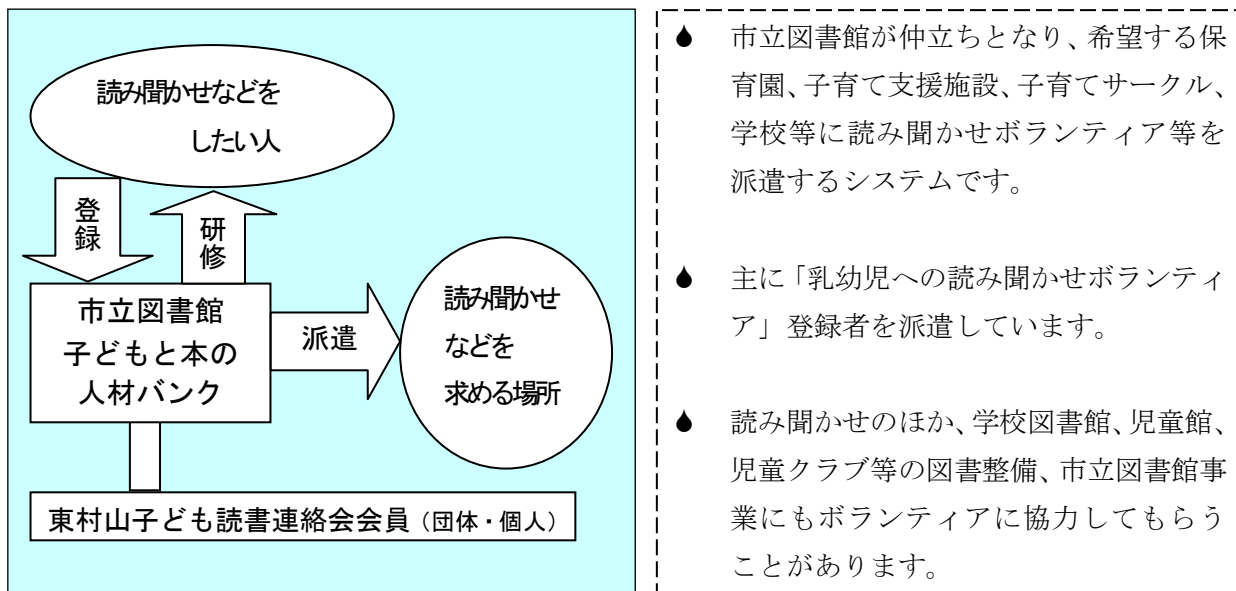
- できることを少しずつ
- 子どもの笑顔のために
- みんなの力で学校図書館を居心地よく



小学校図書館の飾りつけに協力する保護者

■ 市立図書館「子どもと本の人材バンク」

☺ ボランティア派遣が安定稼働できるようにバンクの維持管理につとめます。



■ 市立図書館「東村山子ども読書連絡会」

- ☺ 市立図書館から子どもの読書関連事業の報告、市民意見の聞き取り、本の紹介、参加者相互の情報交換等を通して、図書館と市民、市民と市民のつながりを深めます。
- ☺ 子どもの読書に関わる人の意識啓発の場として充実をはかります。

- ◆ 市内で読み聞かせなど子どもの読書に関わる活動をする方、関心のある方の集まりです。
- ◆ グループでも個人でも参加できます。

子ども読書連絡会
参加者より

みんなのつぶやき

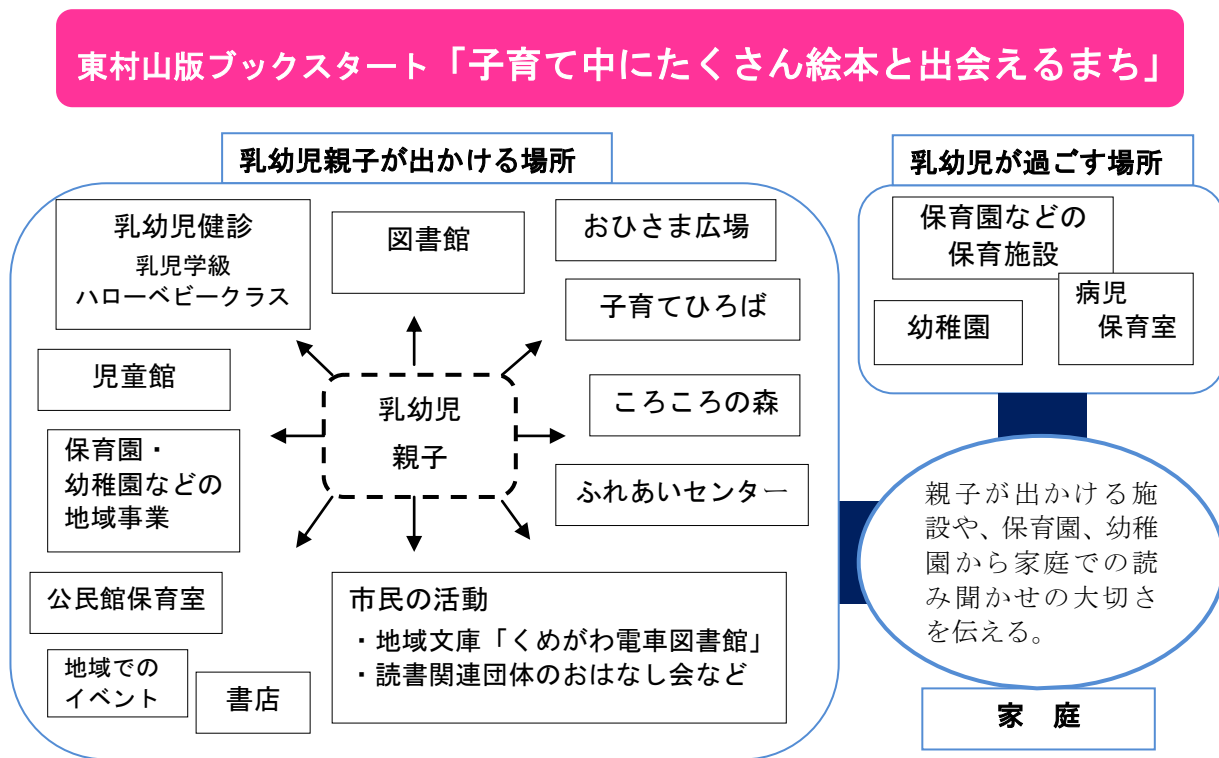
「会で知り合った方とおはなしするのが楽しい。このつながりがきっかけで自分の活動を手伝ってもらうこともでき、輪が広がりました」

「会で職員が紹介する本や手遊びが毎回楽しみです」

「長い間、文庫活動の中で地域や学校での子どもの読書の充実を願ってきたが、この会で新しい世代の皆さんが学校などで活躍していることがわかり、自分たちの思いが引き継がれていると感じる。家庭を開放して文庫をやる時代ではなくなったが、新しい形で市民が子どもの読書に関わっていくことを応援したい」

3. 乳幼児への取り組み

- ◎ 乳幼児親子や園児が市内のいろいろな場所で絵本と触れ合うことができるように「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりをすすめます。



- ◎ 乳幼児親子が訪れる施設に「おすすめ絵本パック」を設置し、乳幼児向けの基本的な絵本との出会いを支援します。
- ◎ 市立図書館「子どもと本の人材バンク」から「乳幼児への読み聞かせボランティア」を派遣し、おはなし会を行うことで親子や園児に絵本の楽しさ・大切さを伝えます。
- ◎ 乳幼児が過ごす保育園、幼稚園では、保育の中で絵本の楽しさを伝えます。
- ◎ 各施設の役割に応じて蔵書の整備や保護者への啓発を行います。
- ◎ 地域文庫の活動や市民グループが行うおはなし会等の活動を支援します。

市立図書館
「おすすめ絵本パック」



中央図書館主催
「赤ちゃん絵本ひろば」



■「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりを支えるボランティアへの支援

- ☺ ボランティアの活動が円滑に行われるように支援します。

●ボランティア研修・交流会「だるまの会」

- ・ 「乳幼児への読み聞かせボランティア」登録者に対して、絵本の選び方、わらべうたや手遊びのやり方、季節に合わせたプログラムの立て方などの研修を行います。
- ・ おはなし会で使う絵本や小道具等を貸し出します。
- ・ ボランティア同士の交流をはかります。



おはなし会の導入に使う
「ミトンくま」さん

●ボランティア養成講座

- ・ 子どもと本についての知識を深め、活動の質が高まるように専門的な講師から学ぶ機会を提供します。



保育園のおはなし会に向けて
本選び・小道具づくり・練習



保健師から赤ちゃんの発達について学ぶ

■「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりを担う職員の育成

- ☺ 子どもの読書の大切さについての共通認識を深め、意識向上につとめます。
- ☺ ボランティア養成講座に参加し、職員も学びながら市民との情報共有をはかります。
- ☺ 「乳幼児への読み聞かせボランティア」によるおはなし会を実施している施設は、おはなし会を円滑に行うために「ボランティア活動記録シート」を活用します。

みんなのつづき

3～4か月児健診のボランティア

「赤ちゃんがじっと絵本を見る姿にママが驚いたり喜んでいました」

「健診で市内のおはなし会の案内をした親子が、実際におはなし会に来てくれて再会できたことがうれしかった」

赤ちゃんのお母さん

「おはなし会の後、図書館のおすすめ本コーナーや季節の本コーナーから絵本をたくさん借りていきます」

市立保育園保育士

「日頃の保育の中に絵本を取り入れ、クラスで盛り上がっています」

私立保育園園長

「おはなし会でボランティアさんが読んでくれる本を園児がどう受け止めるか、職員が学ぶ場にもなっています」



ボランティアによる読み聞かせ
(3～4か月児健診)



ボランティアによる読み聞かせ (ほんちょう保育園)



みんなのつづき

子育てひろばスタッフ 「“おすすめ絵本パック”の中のお気に入り絵本を毎回“読んで”と持ってくる子がいます」

赤ちゃん絵本ひろばボランティア

「初めて参加したお母さんに終わった後声をかけたら、“いつも家でひとりだったので不安でしたが、今日は来てよかったです”と言ってもらえました」

おひさま広場ボランティア 「おはなし会の後、商店街で参加者のママから声をかけられました」

保育園ボランティア

「毎月読み聞かせに行くクラスに近所の子がいるのに気づいたんです。園の中なので声をかけるのを遠慮していたのですが、家の近くで会った時に“いっぱい会ってるね”と言ってくれたんです」

PRや啓発

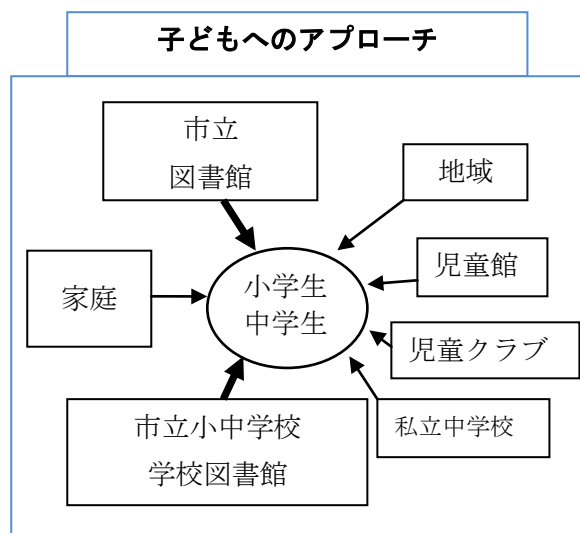
- ・ 「おすすめ絵本パック」の活用をはかるため、設置施設にポスター等でその趣旨を伝え、利用をすすめます。
- ・ 市内で絵本と出会える場所の情報をリーフレットやホームページ等で広くPRします。

4. 小学生・中学生への取り組み

「本を読むのは楽しい」「わからないことがあったら図書館で調べよう」という児童・生徒を増やすために、市立図書館、学校・学校図書館、地域等が連携して、本に出会うための働きかけを行います。また、読解力、課題解決力の向上につながるように、本や図書館を活用する取り組みをすすめます。

■ 本との出会いの場所を整備します

- ☺ 市立図書館・市立小中学校図書館の蔵書の充実をはかります。
- ☺ 本を探しやすく、手に取りやすくなるように図書館のレイアウトや本の見せ方を工夫します。
- ☺ 学級文庫など児童・生徒の身近に本を置いて本に親しむ環境をつくります。
- ☺ 児童館等の子どもが訪れる場所で、気軽に本に触れる機会を提供します。
- ☺ 保護者や地域のボランティアによる学校図書館整備の活動を支援します。



本のある場所の整備、様々な読書活動、調べ学習など市内全体で働きかけます



中央図書館児童コーナー入口

ひとつのテーマで本を集めて来館者を待っています。インパクトのある飾りつけも。



北山小学校図書館

子どもの興味に合わせたタイムリーなコーナー。新聞もあります。



東萩山児童クラブ 図書コーナー

本を手にとりやすいように、ラベル貼り。ボランティアさんが協力してくれました。

■ 本の楽しさ・大切さを知らせる読書活動を充実させます

☺ 市立図書館や学校・学校図書館の取り組みの中で、また、市民活動の中で、読み聞かせ・ブックトーク・ストーリーテリング・紙芝居・本のクイズなど、様々な手法で読書への動機づけをはかります。

☺ 市立図書館、学校図書館では、ブックリストや学校図書館便りで、おすすめ本や新しい本の紹介をし、本選びの手助けをします。

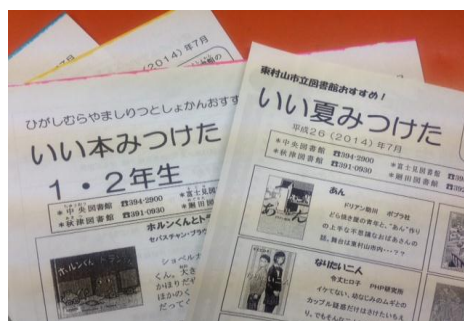
☺ 市立図書館では、「子ども読書の日」にちなんだイベント「わくわく子ども読書まつり」で本の楽しさを伝える取り組みをします。

☺ 学校では、読書週間などの取り組みを通して学校全体で読書意欲を高める工夫をします。

☺ 保護者や地域ボランティアによる小学校での読み聞かせを支援します。



学校図書館専任司書による読み聞かせ



市立図書館発行ブックリスト『いい本みつけた』『いい夏みつけた』

みんなのつぶやき

子どもたちへのアンケートより

「図書館っていい。本がいろんなことを教えてくれるから」「読む本が全部おもしろい」「もっと本が好きになったらいい」「“かいけつゾロリ”はすぐ読んでしまう人が多いから、そのシリーズをいっぱいにしたらいいと思う」「長くておもしろい本を読みたい」「もっとたくさん本を読んでいろいろなことを知りたい」

市立図書館司書のブックトークを聞いて

「テーマひとつでよくここまで本が集まるなど驚きました」「すごく読みたいくなるように紹介してくれたので、読みたいくなりました」「5年生まであまり本が好きではなかったけれど、今ではいつも机に本を積み上げています」

学校図書館専任司書のストーリーテリングを聞いて

「子どもがおでこのあたりに両手で円をつくって“ここに、いろんな絵が出てきた！”」

小学校1年生が学校図書館専任司書に

「どうして先生はいつもおもしろい本ばかり知ってるの？」

小学校6年生が市立図書館で

「先生に紹介する本を探しているの。先生はたくさん読んでるからどれにしようか悩んじゃう」

中学生(中学校図書館便りより)

「本は、自分が思ってもいなかったことを気づかせてくれる、もう一人の自分のような存在だと思います」

5年生担任

「教室にいつもたくさん本を置いてみんなで読み合ってきたから、本好きな子ばかりなのが自慢です」

■ 本で調べる力・図書館を活用する力をつけるための支援をします

- ☺ 市立図書館で調べるための本の充実をはかります。また、インターネット情報の適切な提供につとめます。
- ☺ 市立図書館で調べ方の基礎や調べる楽しさを伝える取り組みを行います。
- ☺ 学校では、学校図書館の使い方や調べ方を身につけるために、本の分類のしくみ、百科事典の使い方、著作権、インターネット情報の活用などについて指導します。
- ☺ 市立図書館の学校支援サービスとして、百科事典や「図鑑セット」を貸し出すほか、各種調べ学習用ワークシートを提供して学校での調べ学習を支えます。
- ☺ 学校図書館便り等を通して、調べ方の基礎を伝えます。
- ☺ 市立図書館ではリーフレットやホームページを活用し、調べる方法や楽しさを伝えます。



講座「調べものはかせになろう」
(市立図書館)



学校図書館での調べ学習
(東村山第五中学校)

みんなのつぶやき

子どもたちへのアンケートより

「本で調べるのもインターネットで調べるのも好き」 「図書館の人に聞かなくても自分で探したい」
「調べるのはめんどくさい」 「調べ学習に役立つ本があるから図書館が好き」

調べもの講座での感想

子ども 「知らなかったことがわかったのでよかった」
「まとめるのがむずかしかった」 「楽しかったので、たくさん調べたい」

ボランティア

「百科事典に載っていても、それを読み取る力が必要だとわかった」
「一度やり方がわかると次々うれしそうに調べていた」
「大人も調べ学習をやりたい」 「インターネットでの調べ方を教えることも必要だと思う」

学校図書館専任司書

「調べ学習に入る前に調べ方のノウハウを説明しました。事前に先生と相談し分担したことで授業の支援がうまくできました」

学校・教育委員会が連携して学校での読書推進をはかります

学校

- 指導の重点に読書活動を位置づけ、「学校図書館全体計画」「学校図書館指導計画」に沿って学校全体で推進します。
- 司書教諭を中心に教員と学校図書館専任司書が連携して、学校での読書活動や図書館活用をすすめます。
- 教員の意識向上につとめます。
- 学校図書館を利用する機会が広がるようにつとめます。
- 家庭に向けて読書の大切さについての啓発を行います。
- 保護者や地域のボランティアの力を借りて、読書活動や図書館整備を行います。

教育委員会

- 学校図書館専任司書の活動によって、学校図書館活用が充実するように支援します。また、専任司書配置の拡大に向けて検討します。
- 「学校図書館担当者連絡会」「学校図書館専任司書研修」「市教育研究会図書館部」などの機会を利用して、学校図書館に関わる職員の育成につとめます。
- 学校図書館の蔵書の充実や蔵書管理の適正化をはかります。また、蔵書管理のコンピュータ化に向けた検討を行います。
- 市立図書館は、授業で使う本の特別貸出、学級文庫用図書貸出などの本の支援のほか、教員や学校図書館専任司書からの相談に応じ、その活動を支援します。



学校図書館管理運営マニュアル
『学校図書館の手引き』



学校図書館利用指導用「分類ゲーム」
保護者の協力で全小学校分作成

市立図書館から1年間貸し出す
学級文庫セット（1クラス40冊）



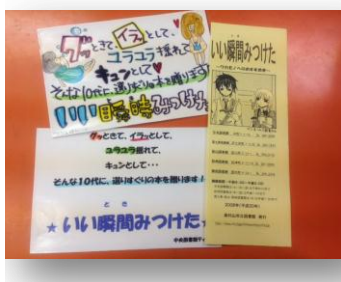
5. 高校生等（おおむね16～18歳）への取り組み

■ 市立図書館が中心となって高校生等の読書の充実をはかります

- ☺ 市立図書館のティーンズコーナー・一般コーナーの充実につとめ、若い世代の図書館利用を促進します。
- ☺ 学生生活や社会人生活を支援するために、レファレンスサービスの一環として、本やインターネットを活用して調べごとの手助けをします。また、中央図書館の読書室や参考資料室の利用を促すようPRにつとめます。
- ☺ 学生ボランティアの受け入れを通して図書館に親しむ機会や仕事体験の機会を提供します。
- ☺ 市内の高校と連携をはかり、高校生への読書案内や市立図書館利用案内を行います。



ティーンズコーナー
新着図書



ブックリストと紹介ポップ
『いい瞬間みつけた』



オンラインデータベース
専用パソコン
(中央図書館参考資料室)

みんなのつぶやき

市立図書館司書

「近くの私立中学・高校の図書委員会の取り組みとして、生徒が来館して、幼児におはなし会をしてくれた。プログラムも工夫されており、上手に読んでいて、親子も喜んでいて、異世代交流の機会にもなり、生徒にとっても参加者親子にとっても、よい体験になったと思う」

都立高校図書館司書

「読書が楽しいものであり、役に立つものであると実感できるような取り組みを行っていきたいです」

高校生

「通学の電車の中では音楽を聴いたり、スマホをいじっているので本を読む時間がない。でも、国語の試験で失敗したのは、難しい本を読む訓練が足りなかったからかな」

高校生の保護者

「あまり本を読まない息子が家で本を読んでいたのでも理由を聞くと、司書の先生が紹介してくれたことで本のおもしろさにはまって、学校図書館に入り浸っているとのことだった。子どもと本をつなぐ人の大切さを感じた」

6. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み

- ☺ 障害のある子どもが読書に親しめるような取り組みをすすめます。
- ☺ 外国人の子どもや帰国子女が、母語や日本語での読書に親しめるような取り組みをすすめます。
- ☺ 学校図書館や市立図書館の利用がしにくい子どもへの支援をすすめます。
- ☺ 通常の見取り図の中においても障害のある子ども等へ配慮するようつとめます。
- ☺ 関連施設・団体や保護者等と連携してニーズを把握し、ボランティアの力も借りて、一人ひとりの特性に合わせた支援ができるようにすすめます。



もともと障害児の手指の訓練のために作られた布の絵本

関連施設・団体

- ・ 特別支援学級（固定学級・通級指導学級）
- ・ 障害児通所支援施設
- ・ 障害児の保護者等の市民グループ
- ・ 健全育成学習室（希望学級）
- ・ 東村山第三中学校萩山分校 など

取り組みのPR

- ・ 必要な人に必要な情報が届くように、多様な方法で案内します。

リーフレット、ホームページ、関連施設への案内、保育園・児童クラブを通じた案内等

市立図書館

- ・ 「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」開催
- ・ 布の絵本、エプロンシアターの貸出
- ・ 外国語資料の貸出
- ・ 読み聞かせボランティア派遣
- ・ ブックリストの提供
- ・ 図書館見学・職場体験の受け入れ
- ・ おはなし会の開催
- ・ 関連施設、特別支援学級、健全育成学習室（希望学級）等への本の特別貸出

学校・学校図書館

- ・ 特別支援学級での読書活動
- ・ 通常学級において特別な支援を必要とする子どもへの対応

保育園・児童クラブ

- ・ 障害のある子どもへの読書活動

教育支援課・子育て支援課

- ・ 関連部署への情報提供
- ・ 保護者への理解啓発
- ・ 特別支援学級への助言
- ・ 健全育成学習室（希望学級）への助言

みんなのつぶやき

「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」参加の保護者

「定例のおはなし会に参加しても騒いってしまうので気兼ねがありました。このような機会があっうれしいです」

「他のお母さんと情報交換できたのでよかった」

学校図書館専任司書

「図書の時間に母語の絵本（日本の絵本を翻訳したもの）を読んでいる顔、時折こちらを向いてうれしそうに笑う顔を見ると、外国語の本を市立図書館から借りてよかったと思う」

健全育成学習室（希望学級）指導員 「生徒からシリーズの続きが読みたいという声が出たので、また貸してほしい」

7. 東村山の地域性を活かした取り組み

- ☺ 東村山市「いのちの教育」推進プランの一環として、いのちの大切さを伝える本の紹介、紙芝居サークル「原っぱ」による紙芝居の上演等を行います。
- ☺ 「いのちとところの人権の森宣言」の趣旨を踏まえ、ハンセン病や人権に関する本の紹介につとめます。また、市立図書館「ハンセン病を知る本」コーナーや、市立小中学校図書館の「いのちとところの本」コーナーを活用します。
- ☺ 市立図書館で東村山についての本を収集するとともに、「東村山ものしりシート」を作成し、東村山についての情報を発信します。
- ☺ 市民の読書活動のシンボルである地域文庫「くめがわ電車図書館」の活動を支援します。



読書記録ノート

表紙は「ブクン」と「ひがっしー」
ブクンは学校図書館キャラクター
(市内在住絵本・紙芝居作家
やべみつのり氏 作)



各校にある「いのちとところの本」コーナー
(東村山第四中学校)



若い人向けの本の展示
「I'm alive 生きてる」(市立図書館)



くめがわ電車図書館 (美住町)
東村山50景のひとつ



いのちをテーマにした紙芝居
中学校での上演(紙芝居サークル「原っぱ」)

資料編

ひまなときも

がんばっているときも

しんどいときも

むずかしいことをしらべたいときも

らぶらぶのときも

やるきがでないときも

まじめにじんせいをかんがえたいときも

本は と・も・だ・ち



資料1 第2次計画の主な取り組みの実績(平成22年度～26年度)

(*1)「乳幼児への読み聞かせボランティア」派遣

- * 市立図書館「子どもと本の人材バンク」登録ボランティアによるおはなし会の実績。
- * 定期的を実施している場所も単発で実施した場所も含む。
- * 回数は日数でカウント（1日で3回おはなし会を実施する場合も1回で数える）。
- * 平成26年度は見込み数（平成27年1月15日現在）。

	派遣か所数	派遣回数	ボランティア延べ人数
平成22年度	26	300	772
平成23年度	34	352	834
平成24年度	39	314	970
平成25年度	39	319	944
平成26年度	39	326	892

- * ボランティア派遣の場所一覧（5年間）。
- * 定期的を実施している場所も単発で実施した場所も含む。
- * 平成27年1月までの実績数。

派遣先	
健診・学級 など	3～4か月児健診
	乳児学級（歯科編）
	乳児学級（栄養編）
	市民健康のつどい
図書館	赤ちゃん絵本ひろば（市民センター）
児童館	栄町児童館
おひさま広場	秋津東おひさま広場
	青葉おひさま広場
	野火止おひさま広場
	萩山おひさま広場
	回田おひさま広場
	南台おひさま広場
	久米川おひさま広場
	久米川東おひさま広場
子育てひろば	のぐちちょう子育てひろば
	みすみ子育てひろば
	ほんちょう子育てひろば
	ほほえみ子育てひろば
	子育て総合支援センター ころころの森

派遣先	
保育園	市立第一保育園～ 第七保育園
	久米川保育園
	花さき保育園
	わくわく保育園
	ほんちょう保育園
	ソラスト東村山保育園
	あいあい保育園
	たんぼぼ保育園
	こひつじ保育園
	その他
青葉・秋津子育てまつり	
ライオンズマンション美彩の杜	
幼児教室すずめ保護者会	
花さき保育園保護者会	
諏訪町3丁目自治会ふれあいサロン	
子育てサークル スターキッズ	
ファミリー・サポート・センター提供会員交流会	

計 42か所

(*2)ボランティア養成のための講座

子ども読書応援団養成講座（市民と図書館による実行委員会：子どもと本をつなぐ会「東村山うちでのこづち」主催）

年度	開催日	講座名	講師	参加人数
平成22年度	6月8日	ボランティアの役割と読み聞かせ活動	廣瀬恒子氏	86
	6月18日	おはなし会にわらべうたを	松下かなり氏	85
	6月30日	おはなしおばさんの手あそびとおはなし講座	藤田浩子氏	116
	7月2日	乳幼児への読み聞かせ～赤ちゃんがハッピーになるおはなし会	金澤和子氏	96
	10月5日	科学絵本っておもしろい！	坂口美佳子氏	86
	10月21日	おはなし会に手袋人形を	高田千鶴子氏	82

子ども読書応援団養成講座（市民と図書館による実行委員会：子どもと本をつなぐ会「東村山うちでのこづち」主催）

平成23年度	6月14日	小学生への読み聞かせ～絵本・児童文学の基礎知識	宮川健郎氏	141
	6月23日	小学生への読み聞かせ～選び方・読み方のポイント	佐藤涼子氏	133
	7月1日	魅せます！ボランティアの底力～絵本・紙芝居・語り	読み聞かせボランティア	86
	7月15日	赤ちゃんがハッピーになるおはなし会	金澤和子氏	77
	9月21日	読み聞かせマラソン～たくさんの絵本と出会えます	図書館職員・読み聞かせボランティア	66
	10月4日	手袋人形を使ったおはなし会	高田千鶴子氏	91
	10月26日	おはなしおばさんの手あそびとおはなし講座	藤田浩子氏	96

子ども読書応援団養成講座（市民と図書館による実行委員会：子どもと本をつなぐ会「東村山うちでのこづち」主催）

平成24年度	6月15日	乳幼児への読み聞かせ	田代康子氏	82
	6月21日	読み聞かせマラソン～たくさんの絵本と出会えます	図書館職員・読み聞かせボランティア	92
	6月27日	小学生への読み聞かせ	福岡淳子氏	129
	7月13日	おはなしおばさんの手あそびとおはなし講座	藤田浩子氏	103
	9月11日	おはなし会アラカルト～手遊び・絵本・紙芝居など	図書館職員・東村山うちでのこづち	78

ボランティアのための「子どもと本を知る」講座（市立図書館主催）

平成25年度	6月7日	乳幼児のおはなし会の工夫	図書館職員・読み聞かせボランティア	40
	6月21日	小学生への読み聞かせ入門	図書館職員・読み聞かせボランティア	66
	6月27日	学校図書館の基礎知識	図書館職員・読み聞かせボランティア	36
	7月4日	脳科学から見た赤ちゃんとの読み聞かせ	泰羅雅登氏	60
	7月9日	小学生を本好きにする方法	さくまゆみこ氏	80

ボランティアのための「子どもと本を知る」講座（市立図書館主催）

平成26年度	6月10日	乳幼児の発達と絵本	子育て支援課保健師・図書館職員	35
	6月18日	エプロンシアターに挑戦！	中谷真弓氏	56
	7月1日	学校図書館ボランティアってなあに？	図書館職員・学校図書館ボランティア	31
	7月4日	絵本の基礎～赤ちゃんから小学生まで	杉山きく子氏	54

5年間 計27回 2,183人参加

(*3)「おすすめ絵本パック」設置場所一覧
(平成26年度実績)

- * 市内の乳幼児親子が訪れる場所に置き、絵本と出会う機会を広げることを目的とする。
- * 市立図書館が選んだ絵本20冊をパックしたもの（窓口用は1セット5冊）。
- * 必要に応じて入れ替えやメンテナンスを行う。

場所	用途	所管
子ども家庭支援センター	地域活動室で子育てサークル等の活動時に使用	子育て支援課
乳幼児健診待合ロビー	健診・学級等での待合用	子育て支援課
1歳6か月児健診	健診時の親子用	子育て支援課
3歳児健診	健診時の親子用	子育て支援課
ハローベビークラス	ハローベビークラス用 (母親学級・両親学級)	子育て支援課
富士見児童館幼児コーナー	乳幼児親子用	富士見児童館
秋津東おひさま広場	乳幼児親子用	秋津東児童クラブ
青葉おひさま広場	乳幼児親子用	青葉児童クラブ
野火止おひさま広場	乳幼児親子用	野火止児童クラブ
回田おひさま広場	乳幼児親子用	回田児童クラブ
久米川おひさま広場	乳幼児親子用	久米川児童クラブ
久米川東おひさま広場	乳幼児親子用	久米川東児童クラブ
のぐちちょう子育てひろば	乳幼児親子用	のぐちちょう子育てひろば
みすみ子育てひろば	乳幼児親子用	みすみ子育てひろば
ほんちょう子育てひろば	乳幼児親子用	ほんちょう子育てひろば
ほほえみ子育てひろば	乳幼児親子用	ほほえみ子育てひろば
子ども育成課 窓口	窓口来庁者親子用	子ども育成課
子ども総務課 窓口	窓口来庁者親子用	子ども総務課
学務課 窓口	窓口来庁者親子用	学務課
多文化共生・男女共同参画推進交流室	講座保育および相談時用	生活文化課
中央公民館保育室	講座保育および子育てサークル活動用	中央公民館
多摩北部医療センター 小児科	待合ロビー、病棟での親子用	多摩北部医療センター

* 3～4か月児健診・乳児学級用には別途配置あり。

計 22か所

(*4)学校図書館整備事業(緊急雇用創出事業活用)
(平成22年度)

目的 市立小中学校全校の学校図書館を整備し、今後の学校図書館活用のための土台づくりをする。

実施体制

作業：学務課の臨時職員（緊急雇用創出事業活用） 5～7名

指示：市立図書館職員

消耗品等予算管理：学務課

日程と作業概要

期間	場所	作業内容
7月6日(火)～ 7月21日(水)	市役所本庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ● 寄贈本等の受入装備 (学校図書館仕様のラベルやブックフィルムの貼付・台帳作成) ● 各校への配送
7月22日(木)～ 9月22日(水)	小学校図書館 @2日×15校	<ul style="list-style-type: none"> ● 古い本の引き抜き、廃棄手続き ● 分類順の配架、レイアウト変更、見出し板の設置
9月14日(火)～ 11月10日(水)	中学校図書館 @4日×7校	<ul style="list-style-type: none"> ● カウンター内や予備室の片付け、書架や本の清掃 ● 蔵書数カウント
11月11日(木)～ 3月下旬	市役所北庁舎 市立図書館 東村山第三中学校 萩山分校	<ul style="list-style-type: none"> ● 寄贈本の受入装備(追加分) ● 各校分見出し板(約2,100個)作成・配送 ● 各校への報告書(廃棄申請書・蔵書数・寄贈本台帳)送付 ● 東村山第三中学校萩山分校整備

* 寄贈本は、全校で3,527冊受入れ。多摩湖町児童図書館(平成22年2月に閉館した地域文庫)の蔵書、市職員から募ったもの、市立図書館再利用本等による。

(*5)学校図書館活用事例一覧

* 学校図書館専任司書が配置されてから現在までの間の学校図書館活用事例（抜粋）。

* 学校図書館専任司書…平成23年10月に市立小中学校に12名配置。2校兼務で各校週2日勤務。
うち2名は1校勤務で、週2日学校支援担当として中央図書館に勤務。

<小学校>

学年等	時期	単元／活動名	学校図書館専任司書による支援内容
教科1年	6月	国語 くちばし	読み聞かせ・本の紹介
	6月	図書 おすすめの本紹介	読み聞かせ・本の紹介
	6月	図書 おはなしかるた	おはなしかるたの準備・おはなしの紹介
	7月	図書 アニマシオン	アニマシオンの提案・準備・実践
	9月	図書 くりかえしのおはなし	ブックトーク「くりかえしのおはなし」
	11月	国語 むかしばなしがいっぱい	おはなし会
	1月	国語 『ぼくは王さま』シリーズ紹介	おはなし会
	2月	国語 どうぶつの赤ちゃん	おはなし会
教科2年	6月	図書 スイミー	レオ・レオニ作品紹介
	9月	図書 アニマシオン『とんでいったりんご』	アニマシオンの提案・準備・実践
	10月	生活科 さつまいも	本の紹介・おはなし会
	10月	図書 図鑑ワークシート	利用指導・ワークシートによる演習
	10月	図書 ペア読書	自尊感情を育てるというテーマによる ペア読書企画
	11月	国語 おてがみ	ローベル作品紹介・読み聞かせ
	12月	国語 図書館たんていだん	分類ゲーム
	12月	国語 図書館たんていだん	ワークシートの提案 分類の基礎について説明
教科3年	2月	図書 三まいのおふだ	読み比べ・本の紹介
	6月	図書 教科書に載っている本の紹介	読み聞かせ・本の紹介
	7月	国語 本を紹介しよう	ミニビブリオバトルの紹介見本
	7月	図書 コートジボワールからの視察	コーナー作成・アフリカの本紹介
	10月	図書 図鑑ワークシート	利用指導・ワークシートによる演習
	11月	国語 すがたをかえる大豆	関連本紹介・おはなし会
	12月	図書 クリスマスの本	読み聞かせ・本の紹介
	1月	国語 理科の本	関連本紹介
教科4年	2月	国語 本で調べてほうこくしよう	百科事典の引き方演習・テーマ本探し
	11月	国語 ごんぎつね	関連本紹介
	2月	国語 安房直子	安房直子の本紹介

教科5年	6月	国語 百年後のふるさとを守る(伝記)	読み聞かせ・本の紹介・ブックリスト作成
	11月	国語 大造じいさんとガン	関連本紹介
	11月	学習発表会のためのブックトーク	ブックトーク「スイーツがつなぐ絆の物語」
	11月	図書 図書の分類と配列	分類ゲーム
	2月	社会 情報ネットワークと図書館	図書館の情報ネットワークについての説明
教科6年	7月	キャリア教育	職業に関するブックトーク
	9月	国語 平和について考える	平和に関する本のブックトーク
	9月	総合 全生園見学の事前学習	人権に関する本の紹介
	11月	国語 説明文を書く「12歳の提言」	参考資料提供
	1月	社会科見学を深めよう	国会関連ブックトーク
	1月	国語 やまなし	宮沢賢治ブックトーク
	2月	国語 海のいのち	立松和平『いのち』シリーズブックトーク
教科外	4月	オリエンテーション	約束・本の並び方・貸出方法
	8月	教員研修：読み聞かせについて	読み聞かせの理論と実際
	9月	読書月間 図書委員のおはなし会	企画・本の紹介・読み聞かせの指導
	10月	読書月間 なかよし読書	企画
	10月	読書週間 先生による読み聞かせ	先生のおすすめ本展示など
	11月	読書週間 図書委員のブックトーク	テーマ決め・選書の手伝い
	1月	いのちとこころの教育週間 校内テレビ放送	本の紹介・読み聞かせ
	2月	道徳公開講座 講演	講演「心を育てるファミリー読書」

<中学校>

学年等	時期	単元/活動名	学校図書館専任司書による支援内容
1年	4月	国語 オリエンテーション	約束・貸出方法・図書の分類
2年	5月	美術 環境ポスター制作	資料探しの手伝い
1年・ 特別支援	7月	国語 昔話を伝える	読み聞かせ・エプロンシアター・ 紙芝居
2年	11月	国語 都内めぐり事前学習	戦争をテーマに紙芝居とブックトーク
2年	12月	都内めぐり調べ学習	本の貸出
3年	12月	ブックトーク(時事問題・秘密)	ブックトーク
2年	12月	総合 環境問題	資料準備165冊・ガイダンス
1年	1月	保健体育 タバコ・アルコール・薬害	資料準備・紹介・利用指導
1年	3月	国語 ブックトーク(原子)	ブックトーク
3年	3月	卒業記念ブックトーク:差別について	ブックトーク

(＊6)市立図書館からの学校図書館支援活動まとめ
(平成23年10月～平成26年12月)

＊中央図書館には、2名の学校図書館専任司書が週2日ずつ勤務。学校図書館専任司書と市立図書館司書が各校の学校図書館の活動を支援している。

1. 図書館便りコンテンツ作成

(小学校)

・前月末ごろ各校へ発送後、各校で編集・配布。

発行月	テーマ図書紹介	記事	ブックンものしり教室
平成23年度			
10月	司書紹介	司書の勤務日・勤務時間	
11月	食欲の秋、おいしい物語をめしあがれ！	貸出の決まり+ブックン紹介	ラベルと分類番号
12月	クリスマスのおはなし	貸出の決まり	ラベルと分類番号
1月	ことしは辰年！ 竜の本		物語の本の分類
2月	ゆきやこんこん！雪のふる物語	本の修理について（セロテープは禁止）	物語の本の分類
3月	はーるよこい！春をまつおはなし	市立図書館と学校図書館の本の見分け方	
平成24年度			
4月	学校だいすき！先生だいすき！の本	司書紹介	
5月	詩の本	図書ボランティア紹介	図鑑を使おう その1
6月	雨ふりのおはなし	水濡れ注意	図鑑を使おう その2クイズ
7月	夏休みおすすめの本 低・中・高学年用、課題図書紹介	夏休みの本の貸出について	市立図書館案内
9月	おじいちゃんおばあちゃんありがとうの本	本の返却について	図書館クイズ（むかしばなし）
10月	食欲の秋 おいしい物語	読書週間	図書館クロスワードに挑戦！
11月	ノンフィクション&伝記		奥付けと出典（情報カード）
12月	クリスマス&お正月	冬休みの本の貸出について	いろいろな分類を見よう！
1月	みんな違ってみんないい 人権の本		いのちとこころの本コーナー
2月	バレンタイン！ 恋とチョコの本		百科事典を使おう
3月	今年人気のあった本	督促、司書の勤務日	
平成25年度			
4月	なかよくなろうね！ ともだちの本	司書紹介+ブックン紹介+保護者へのお願い	
5月	詩の本	図書ボランティア紹介	地域資料の紹介
6月	お父さんお母さんだいすき！ 家族の本	本の修理について（セロテープは禁止）	
7月	表面：学校より、裏面：市立図書館「いい本みつけた」の合同版※	夏休みの本の貸出について	
9月	スポーツの秋（国体応援号）		図鑑を使おう（いろいろな図鑑）
10月	空を見上げよう！ 宇宙・月・星の本	読書週間	7類の本の紹介
11月	図書館だいすき！の本		

12月	冬休みおすすめの本 クリスマス・お正月	冬休みの本の貸出について	データブックを使おう（年鑑）
1月	いのち・人権の本		いのちとこころの本コーナー
2月	2月22日は猫の日 猫の本		百科事典を使おう
3月	ことし人気のあった本	今年のデータまとめ、督促	年度末ごあいさつ+勤務日について
平成26年度			
4月	学校だいすき！の本	司書紹介+保護者へのお願い	
5月	詩の本 ありがとう、まどさん	図書ボランティア紹介	著作権に注意しよう
6月	ゆっくり、の〜んびりの本	本の修理について（セロテープは禁止）	
7月	表面：学校より、裏面：市立図書館「いい本みつけた」の合同版※	夏休みの本の貸出について	
9月	生きものだいすき！の本	夏休みに借りた本返却のお願い	図鑑と凡例
10月	おなががすく本、いただきます！	読書週間+読書ビンゴ	
11月	いろいろなおしごとの本	第60回学校読書調査	
12月	もうすぐクリスマス&お正月！&来年はひつじ年！	冬休みの本の貸出について	

※平成25年度から、7月号は市立図書館のおすすめ本リスト「いい本みつけた」を裏面に掲載、合同発行とした。

（中学校）

- ・本の紹介文や図書館学講座の記事を作成、配布。各校で利用してもらった。
- ・平成25年度から、7月号の中学校図書館便りは、市立図書館のおすすめ本リスト「いい夏みつけた」を裏面に掲載、合同発行とした。

2. 教科書関連情報提供

（小学校）

- ・月初め（1週目）にその月支援できそうな単元をお知らせした。
- ・国語、社会、理科、生活科の教科書の単元と支援例をまとめた表を作成し、配布。

（中学校）

- ・国語、英語の教科書の関連本のまとめを作成し、配布。

3. 地域資料の収集と配布

（小学校・中学校）

- ・東京の島、玉川上水等に関するブックリスト作成、パンフレットの収集、配布。
- ・東村山市、及び東京都に関するパンフレットの収集、配布。

4. 職員向け図書館便りコンテンツの作成

平成24年度	
4月	司書の上手な使い方
7月	夏休み用の貸出について、先生のためのデータベース紹介、こんな利用がありました
10月	読書週間、図書の時間の利用法、こんな利用がありました
3月	活動報告書

平成25年度	
4月	司書の上手な使い方
7月	図書館オリエンテーション、特別貸出利用の多かったテーマ、ビブリオバトルなど
11月	読書月間（週間）の取り組み、図鑑学習、「分類ゲーム」増産中、第59回学校読書調査
3月	活動報告書
平成26年度	
4月	司書の上手な使い方
7月	図書館オリエンテーション課題、並行読書、アニメーション、『あん』映画化紹介
10月	第60回学校読書調査、学校図書館担当者連絡会、いのちとこころの本コーナーなど

5. その他

- ・各校からの依頼を受けて、特別貸出への対応
- ・各校司書からの相談業務
- ・各校図書館整備支援
- ・学校図書館活用事例・活動報告書のひな形作成、配布と収集
- ・情報カードなど調べ学習ツールの作成
- ・オリエンテーション資料等の作成
- ・新刊紹介など
- ・図鑑セット、百科事典貸出
- ・取り組み回数調査
- ・読書月間アンケート
- ・修学旅行関連本調査
- ・市立図書館再利用本寄贈
- ・学校図書館活動報告

(*7)子ども関連施設への図書特別貸出

- * 特別貸出は市立図書館から団体に対して長期間貸出する制度。
- * 下記は依頼内容に沿ったテーマの本をセットして配送したもの。
- * 電話・FAX等で受け付けたもので、来館利用分は含まない。
- * 平成26年度は平成27年1月までの実績数。

<学校への貸出>

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
調べ学習用図書等	123	3,639	237	5,303	390	5,982	375	5,107	321	5,135
学級文庫・ 1年生読み聞かせ用図書	209	8,071	235	9,040	274	10,550	272	10,440	292	11,210
合計	332	11,710	472	14,343	664	16,532	647	15,547	613	16,345

<保育園・児童館等への貸出>

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
読み聞かせ用図書等	69	2,308	99	2,778	108	3,228	146	5,746	126	4,215

5年間 計3,276件 92,752冊

(*8)「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」

- * 布の絵本で自由に遊んだり、ミニおはなし会で読み聞かせやエプロンシアターを楽しんでもらう。
- * 市立図書館主催。
- * ボランティアは市立図書館「子どもと本の人材バンク」より「布の絵本サポーターズ」「乳幼児への読み聞かせボランティア」を派遣。

	開催場所	参加人数	ボランティア人数
平成22年度	ころころの森	17	3
平成23年度	ころころの森	15	4
平成24年度	ころころの森	6	4
平成25年度	ころころの森・廻田図書館・秋津図書館	17	7
平成26年度	ころころの森・秋津図書館	12	6

資料2 市立図書館事業一覧

全般

- 「東村山市子ども読書活動推進計画」事務局
- 「東村山子ども読書連絡会」事務局
- 「子どもと本の人材バンク」事務局
- 市立図書館ホームページでの発信（子ども向け、ティーンズ向け、保護者・子どもに関わる人向け）
- 「わくわく子ども読書まつり」（「子ども読書の日」PR事業）の実施

館内サービス

乳幼児への取り組み

発行物	乳幼児向けおすすめ絵本リスト・啓発パンフレット『おひざのうえてシリーズ』 ブックリスト『いのちの大切さを考える絵本』 リーフレット『子育て中にたくさん絵本と出会えるまち東村山』 読書記録ノート
行事等	おはなし会（赤ちゃん絵本ひろば、2・3歳のおはなし会、0～3歳のおはなし会、幼児のおはなし会）・布の絵本プレイルーム
本のコーナー	「おひざのうえて」・「子育て情報」等の常設コーナー設置

小学生への取り組み

発行物	児童向け利用案内『はじめまして！としょかんです』 保護者向けリーフレット『読み聞かせのポイント』、読み聞かせ用絵本リスト 小学生向け夏休み用ブックリスト『いい本みつけた』 小学生保護者向けちらし『夏休み！親子で図書館へどうぞ』 ブックリスト『いのちの大切さを考える絵本』 小学生向け『としょかん見学ガイド』 「東村山ものしりシート」 読書記録ノート
行事等	保護者向け読み聞かせ入門講座 小学生本の感想画展示 小学生のおはなし会 夏休み親子豆本作り教室「かわいい豆本を作しましょう」 夏休み親子図書館体験 夏休み調べ学習講座「調べものはかせになろう」
本のコーナー	季節やテーマに合わせた本のコーナー設置 「子育て情報」・「読み聞かせ情報」・「教科書」・「東村山の本」・「おたのしみ」等の常設コーナー設置

中学生への取り組み

発行物	中学生向け『図書館の仕事—実務編—』 中学生向け夏休み用ブックリスト『いい夏みつけた』 中学生～一般向け『全生園とハンセン病を知る—ブックリストと資料』 中・高校生向け『としょかん ALL Right』 中・高校生編集による新聞『EXPO新聞』 「東村山ものしりシート」 読書記録ノート
行事等	利用者同士の情報交換用「ティーンズノート」設置 投稿イラストの掲示用「ティーンズイラストコーナー」設置 図書館学生ボランティア受け入れ 高校情報コーナー設置 落書きコーナー設置
本のコーナー	職場体験に来た中学生のおすすめ本コーナー設置 季節やテーマに合わせた本のコーナー設置

高校生等(おおむね16～18歳)への取り組み

発行物	若い人向けブックリスト『いい瞬間(とき)みつけた』 中学生～一般向け『全生園とハンセン病を知る—ブックリストと資料』 中・高校生向け『としょかん ALL Right』 中・高校生編集による新聞『EXPO新聞』 読書記録ノート
行事等	利用者同士の情報交換用「ティーンズノート」設置 投稿イラストの掲示用「ティーンズイラストコーナー」設置 図書館学生ボランティア受け入れ
本のコーナー	職場体験に来た高校生のおすすめ本コーナーの設置 季節やテーマに合わせた本のコーナー設置

読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み

行事等	障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム
本のコーナー	発達障害啓発週間にちなみ「知ってほしい発達障害」コーナー設置

バックアップサービス

子どもの読書に関わる市民(個人・団体)への取り組み

発行物	<p>『読み聞かせボランティア活動マニュアル 3～4か月児健康診査』等4種 「子どもと本の人材バンク」登録者用案内 リーフレット『東村山子ども読書連絡会』 リーフレット『子育て中にたくさん絵本と出会えるまち東村山』 リーフレット『乳幼児への読み聞かせボランティア登録者用活動の手引き』 リーフレット『おはなし会用大型絵本・大型紙芝居・紙芝居舞台・エプロンシアター他』 ブックリスト『集団用大型絵本』『集団用大型紙芝居』</p>
支援	<p>ボランティア活動用図書相談受付・特別貸出 再利用図書寄贈 「子ども読書応援団養成講座」(「東村山うちでのこづち」)への協力 「ボランティアのための子どもと本を知る講座」 「東村山子ども読書連絡会」 読み聞かせ入門講座 子どもの読書に関わる講座への協力(図書紹介・講師等) 「大人のためのおはなし会」等市民団体との協働事業 「乳幼児への読み聞かせボランティア」への研修・交流会 エプロンシアターの貸出</p>

子ども関連施設(学校以外)への取り組み

発行物	<p>乳幼児保護者向け利用案内(3～4か月児・1歳6か月児健診時配布用、3歳児健診時配布用) 子ども関連施設の先生向け利用案内 ファミリー・サポート・センター提供会員向け利用案内</p>
支援	<p>保育園・幼稚園・児童館等への特別貸出・配送 「おすすめ絵本パック」の配置(子育てひろば、おひさま広場等) 再利用図書寄贈 3～4か月児健診、乳児学級への読み聞かせボランティア派遣 子育てひろば・おひさま広場への読み聞かせボランティア派遣 保育園への読み聞かせボランティア派遣 児童クラブへの読み聞かせボランティア派遣 児童クラブ等の図書室整備</p>

小学校への取り組み

発行物	小学校・中学校先生向け利用案内 学校図書館管理運営マニュアル『学校図書館の手引き』
支援	小学校1年生読み聞かせ図書セット、学級文庫用図書セットの特別貸出・配送 調べ学習用図書の特別貸出・配送 再利用図書寄贈 小学校3年生および特別支援学級の図書館見学受け入れ 小学校3～6年生へのブックトーク訪問 特別支援学級へのおはなし会訪問 学校図書館用図書購入の相談受付・学校図書館整備 学校図書館担当者連絡会（平成23年度に司書教諭連絡会から名称変更）、市教研図書館部への協力 学校図書館利用指導用「分類ゲーム」作成 学校図書館専任司書への支援・研修 小学校への読み聞かせボランティア派遣 紙芝居サークル「原っぱ」の派遣

中学校への取り組み

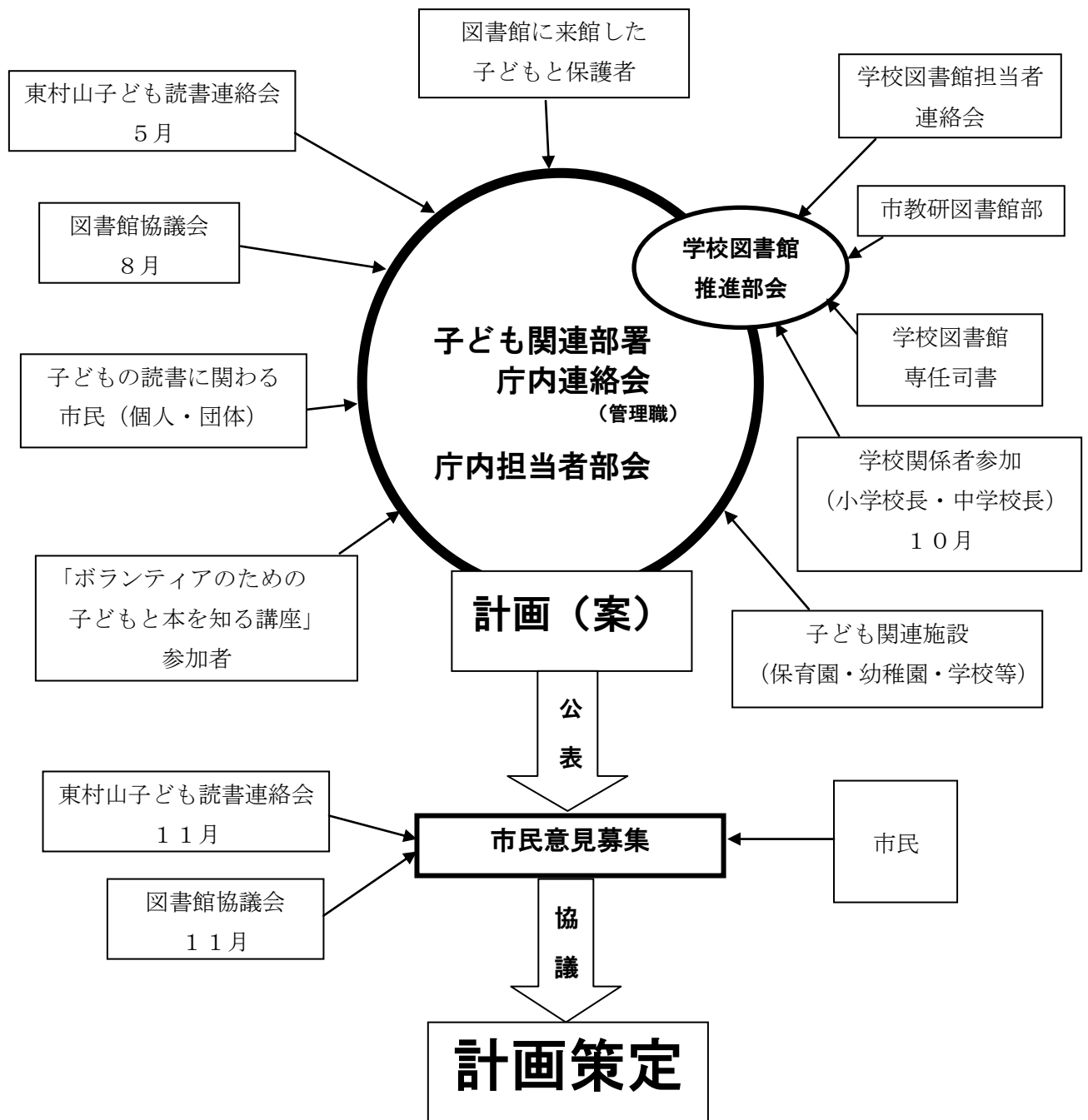
発行物	小学校・中学校先生向け利用案内 学校図書館管理運営マニュアル『学校図書館の手引き』
支援	調べ学習用図書の特別貸出・配送 再利用図書寄贈 職場体験受け入れ 学校図書館用図書購入の相談受付・学校図書館整備 学校図書館担当者連絡会（平成23年度に司書教諭連絡会から名称変更）、市教研図書館部への協力 学校図書館専任司書への支援・研修 紙芝居サークル「原っぱ」の派遣

高校等への取り組み

実施事業	職場体験受け入れ 紙芝居サークル「原っぱ」の派遣
------	-----------------------------

資料3 策定のしくみ

第2次計画での取り組みを実施する中で築いた市民の皆さんや関連施設との連携体制を活用しながら、意見を聞き取り、子ども関連部署で協議しながら計画(案)を作成しました。計画(案)は公表し、広く市民の皆さんから意見を募集(パブリックコメント)したのちに、本計画を策定しました。



資料4 意見聞き取りの概要

子どもの読書に関わる市民（個人・団体）や子ども関連施設から意見を聞き取り、計画策定の参考にしました。

アンケートによる聞き取り

子ども・保護者	市立図書館に来館した子どもと保護者 1209人 (実施期間：平成26年8月15日～9月14日)
子どもの読書に関わる市民団体	おはなしグループ青葉
	おはなしグループ「トックのかご」
	おはなし宅配便・ポポ
	恩多ふれあいセンター読み語りの会
	紙芝居サークル「原っぱ」
	がらくた文庫
	くめがわ電車図書館
	多摩湖ふれあいセンター図書コーナー
	東村山うちでのこづち
	東村山学校図書館ボランティアの会
富士見図書館友の会	
子どもと本の人材バンク個人登録者	「乳幼児への読み聞かせボランティア」
子どもの読書関連講座参加者	「ボランティアのための子どもと本を知る講座」 1～4の参加者149人
*市立小中学校	学校図書館担当者（司書教諭等）
	学校図書館専任司書
	市教研図書館部所属教諭
	特別支援学級教諭、健全育成学習室指導員
*私立中学校・高校、都立高校	司書教諭、学校司書
*保育園、幼稚園、児童館ほか	所属長、保育士ほか

<*は、資料5に一覧あり。>

会議での聞き取り

東村山子ども読書連絡会	市民
図書館協議会	市立図書館諮問機関
学校図書館推進部会	校長参加

資料5 子ども関連施設アンケート実施先一覧

市立小学校	15	化成小学校 回田小学校 大岱小学校 秋津小学校 八坂小学校 萩山小学校 南台小学校 久米川小学校 東萩山小学校 青葉小学校 北山小学校 秋津東小学校 野火止小学校 久米川東小学校 富士見小学校
市立中学校	8	東村山第一中学校 東村山第二中学校 東村山第三中学校 東村山第四中学校 東村山第五中学校 東村山第六中学校 東村山第七中学校 東村山第三中学校萩山分校
市立小中学校特別支援 学級（固定学級）	6	八坂小学校（青葉学級） 秋津小学校（青葉学級） 化成小学校（青葉学級） 東萩山小学校（青葉学級） 東村山第一中学校（一組） 東村山第二中学校（八組）
市立小中学校特別支援 学級（通級指導学級）	5	久米川小学校（わかたけ学級） 萩山小学校（きりの木学級） 萩山小学校（きりの木学級ことばの教室） 東村山第三中学校（みどり野学級） 東村山第四中学校（おおぞら学級）
市立その他	1	健全育成学習室（希望学級）
障害児通所支援施設等	5	スマイル 楽しい放課後みんな 東村山卒後の居場所準備室 幼児室ポッポ らっこの会
私立中学校 私立高等学校	6	桜華女学院中学校 日体桜華高等学校 明治学院中学校 明治学院東村山高等学校 明法中学校 明法高等学校
都立高等学校	2	東村山高等学校 東村山西高等学校
公立認可保育園	7	第一保育園 第二保育園 第三保育園 第四保育園 第五保育園 第六保育園 第七保育園
私立認可保育園	13	つばみ保育園 久米川保育園 花さき保育園 東たいてん保育園 ふじみ保育園 わくわく保育園 りんごっこ保育園（本園） りんごっこ保育園（分園） つばさ保育園 ほんちょう保育園 八国山保育園（本園） 八国山保育園（分園） 青葉さくら保育園
私立認定子ども園	1	東村山むさしの保育園
認証保育所（A型）	7	空飛ぶ三輪車 りんごっこ駅前保育園 空飛ぶ三輪車・秋津保育所 ソラスト東村山 いづみ愛児園 りんごっこ久米川駅前保育園 あいあい保育園
定期利用保育施設	4	みゆき保育所 たんぼぼ保育園 幼児教室すずめ（定期利用コース） ひまわり保育室
家庭的保育施設	2	ことり保育室 ひまわりママ
東村山市保育室	2	こひつじ園 緑風荘保育所
幼稚園	11	秋津幼稚園 麻の実幼稚園 暁星幼稚園 久米川幼稚園 精心幼稚園 多摩みどり幼稚園 しらぎく幼稚園 まりあ幼稚園 美住幼稚園 南台幼稚園 東村山むさしの幼稚園
児童館	5	秋津児童館 富士見児童館 本町児童館 栄町児童館 北山児童館
児童クラブ（育成室）	25	秋津児童館育成室 栄町児童館第1育成室 栄町児童館第2育成室 富士見児童館育成室 北山児童館育成室 本町児童館育成室 第1化成児童クラブ 第2化成児童クラブ 第1萩山児童クラブ 第2萩山児童クラブ 南台児童クラブ 第1青葉児童クラブ 第2青葉児童クラブ 第1東萩山児童クラブ 第2東萩山児童クラブ 第1久米川児童クラブ 第2久米川児童クラブ 第1回田児童クラブ 第2回田児童クラブ 第1秋津東児童クラブ 第2秋津東児童クラブ 第1野火止児童クラブ 第2野火止児童クラブ 久米川東児童クラブ 富士見児童クラブ
子育てひろば	5	ころころの森 のぐちちょう子育てひろば みすみ子育てひろば ほんちょう子育てひろば ほほえみ子育てひろば
おひさま広場	8	秋津東おひさま広場 青葉おひさま広場 野火止おひさま広場 萩山おひさま広場 回田おひさま広場 南台おひさま広場 久米川おひさま広場 久米川東おひさま広場
合計	138	※上記138か所の施設にアンケート実施 平成26年10月29日現在112か所分回収（約82%）

資料6 庁内の計画策定体制(平成26年度)

＜子ども関連部署庁内連絡会＞ 事務局：図書館

教育部 部長	曾我 伸清
教育部 次長（生涯学習担当）	肥沼 卓磨
教育部 次長（学校教育担当） 指導室長兼務	川合 一紀
教育部 学務課長	佐藤 道德
教育部 教育支援課長	高橋 功
子ども家庭部 子ども総務課長	星野 邦治
子ども家庭部 子育て支援課長	森脇 孝次
子ども家庭部 子ども育成課長	高柳 剛
子ども家庭部 児童課長	半井 順一
教育部 図書館長	田中 香代子

＜子ども関連部署庁内担当者部会＞ 事務局：図書館

教育部 学務課	茅野 まゆみ
教育部 指導室	中野 貴博（指導主事）
教育部 教育支援課	大西 弥生（教育支援課課長補佐）
子ども家庭部 子ども総務課	小澤 千香（子ども総務課課長補佐）
子ども家庭部 子育て支援課	大塚 知香（保健師）
子ども家庭部 子ども育成課	中丸 孝子（保育士・第七保育園園長）
子ども家庭部 児童課	井出 秀子（児童厚生員・第1東萩山児童クラブ）
教育部 図書館	並木 直江（司書・廻田地区館長） 木村 弘美（司書・中央図書館） 小山 美年（児童・ティーンズ・学校支援サービス担当）

＜学校図書館推進部会＞ 事務局：図書館

教育部 部長	曾我 伸清
教育部 次長（生涯学習担当）	肥沼 卓磨
教育部 次長（学校教育担当） 指導室長兼務	川合 一紀
教育部 庶務課長	田中 宏幸
教育部 学務課長	佐藤 道德
教育部 図書館長	田中 香代子

* 10月の学校図書館推進部会参加者

小学校長	川畑 庄二（大袋小学校）
中学校長	高野 和美（東村山第五中学校）

資料7 本計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果について

1. 意見募集(パブリックコメント)の概要

募集期間：平成26年11月15日(土)～12月5日(金)

応募資格：市内在住・在勤の方

応募人数：7名

意見内容：18件

このほか、「東村山子ども読書連絡会」・「東村山市立図書館協議会」においても、多数のご意見をいただきました。

2. ご意見およびそれに対する市の考え方

*お寄せいただいたご意見は、章別・テーマ別に分類し掲載しています。

*ひとつのご意見の中に複数の内容が含まれている場合は、該当する章・テーマに分割して掲載し、一部表記や語調の統一を行っています。

*ご意見の中での具体的な事業の提案については掲載していませんが、今後の取り組みの中で参考にさせていただきます。

第1章 5. 第2次計画の成果と課題(5ページ～)についての意見

- ・ 第1次・第2次の成果や子どもたちの利用等の数値が具体的に示されると、なおよい。

→ 子どもの読書については、たくさん読むだけでなく、深く味わい楽しむことが大切です。成果を数値で計ることは難しい一面もあることから、ここでは具体的な数値を示していませんが、第2次計画の成果と考える具体的な取り組み内容は、資料編に追加しました。

第2章 計画内容(7ページ～)全般についての意見

- ・ 掲載されている写真が女性と子ども中心なので、男性のものもあるとよかった。母親だけでなく、父親にも祖父母にも関わってほしい。祖父母世代向けの企画はどうか。
- ・ 個人的な楽しみで始めたボランティア活動だが、深いものを感じる。高齢者が子どもの成長に少しでも関わることのできる場の提供も必要かと思う。
- ・ 本に親しむということは、個人の本質的なものに関係すると思っていたが、この計画を知って、大人の関わり的重要性を感じた。子どもの発達に伴って、その環境を整備していくことは素晴らしいと思う。

→ 写真にあるように、現在は参加者も担い手も女性が多い状況です。今後は、男性も女性も、若い方も高齢者の方もいろいろな世代の、いろいろな立場の方に関わっていただけるように、PRや取り組みを工夫していきます。

- ・ 基本を固めるこれまでの取り組みは継続価値がある。今後は読書や図書館活用について、例えば受験に効果が出るような施策をして納税層である教育関心層の流入を目指すなど、市にも市民にも実利を生む施策の打ち上げが必要ではないか。

→ 計画の目的を踏まえ、より有効な施策について工夫、検討してまいります。

第2章 2. 市民協働のしくみづくり（9ページ～）についての意見

- ・ 「子どもと本の人材バンク」は市内の様々な読書ボランティアのネットワークを確立し、図書館が仲立ちをすることでボランティアも受け手ともに安心できる関係を築くことができている。このしくみが継続的に子どもたちによりよい読書環境を提供できる土壌となっている。

→ ボランティアの研修や交流会の実施によって質の高い活動を子どもたちに届けることができるよう、引き続き「子どもと本の人材バンク」の充実につとめます。

第2章 3. 乳幼児への取り組み（11ページ～）についての意見

- ・ 3～4か月児健診の読み聞かせボランティアで関わっているが、子どもたちが赤ちゃんの時から読み聞かせで絵本に接し、それが幼児、小学生、中学生へとつながっていく、よい取り組みだと思う。
- ・ 「おひさま広場のおはなし会に参加して、自分も子どももボランティアさんに育てられた」という保護者の声を聞き、地域の取り組みの成果としてうれしく思う。
- ・ 病院の待合室などへも「おすすめ絵本パック」を配置したらどうか。市内全部の子どもが関わる施設で、おすすめ絵本の情報を共有できるとよい。
- ・ 乳幼児が本に出会える場所として「病院」も重要だと思う。

→ 今後も東村山版ブックスタート「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」を目指して、乳幼児親子が出かける場所・過ごす場所で、たくさんの絵本と触れ合う機会をつくるために、「おすすめ絵本パック」の配置や読み聞かせボランティアの派遣を充実させていきます。また、乳幼児期に絵本と触れ合った経験がその後の読書につながるよう各年代に合わせた取り組みも行っていきます。

- ・ おはなし会はいつも午前中が多く、昼寝が午前中の息子はなかなか参加できなかったので、午後のおはなし会があってもよいと思う。

→ 現在市立図書館では、「赤ちゃん絵本ひろば」「2・3才のおはなし会」「0～3才のおはなし会」は午前中に、「幼児のおはなし会」は午後を実施しております。子育てひろばでは、午後を実施している場所もあります。今後とも、市内各所のおはなし会で、曜日や時間帯が適切かどうか参加者の生活動向やニーズを確認しながら、たくさんの方が参加できるようにすすめていきます。

第2章 4. 小学生・中学生への取り組み（14ページ～）についての意見

- ・ 学校で図書ボランティアをしているが、中心メンバーの（子どもの）卒業や、働く保護者の増加により、参加者が減ってきた。活動を活性化するために、地域の方の参加や、市によるボランティア講座が望まれる。

→ 保護者や地域の方の活動が充実したものになるように、ボランティア同士の情報交換の場をつくったり、講座を開催したりして支援していきます。

- ・ 家で子どもと本を読む経験が多くないという現状がある。声に出して読んでもらう体験が子どもにとってよいと思うので、ひとりで読めるようになっても親が読んであげることが大事ではないか。

→ 家庭で読み聞かせをしたり、親子で本の話をしたりすることの大切さをいろいろな機会に伝えていきます。

- ・ 学校図書館専任司書（以下「学校司書」）が配置されたことで、学校図書館の環境が大きく変化し、授業でもよく使われるようになった。学校司書の力は大きいと感じている。
- ・ 中央図書館のティーンズコーナーに掲示された投稿に、図書館が心と体の“居場所”だったというものがあった。娘も友だち関係がうまくいかず学校の図書室を居場所にしていた時があり、学校司書がいて楽しいと言っていた。学校司書が毎日いてくれるとよいと思う。（ほか学校司書の1校専任配置、勤務時間増の意見あり）

→ 学校司書については、多くのご意見をいただきました。学校司書の配置により、学校での読書推進は格段に充実しましたが、1校週2日、2校兼任の現状では充分とは言えません。配置の拡大や任用体制の安定化に向け、検討します。

- ・ ボランティアとして中学校で文学作品の紙芝居を演じたときに、「読んでもらって初めて作品の意味がわかった」との声を聞き、授業で習った作品でも生徒によって読解力の差があることを感じた。読書の苦手な子でもわかりやすい本から紹介することで徐々に読解力を高めていけるように先生から働きかけてほしい。
- ・ 読書指導をしていくことで伸びる学力があり、指導に工夫が必要である。
- ・ “本を読む力”と“本を使って調べる力”は異なる力であり、本を通して学ぶ意識を持ち、調べさせる授業に取り組む必要がある。
- ・ 司書教諭の果たすべき役割は大きいですが、授業時間の軽減措置も取られておらず、十分に機能できていない。
- ・ 先生が読書を楽しむ姿を見せたり、本を紹介したりすることは、子どもが本に関心をもつ上で大変効果的だと思う。先生方が読書への意識を高め、どの学年においても「図書の時間」や読み聞かせを大切にしていきたい。

→ 子どもが本の楽しさを知り、読む力や本を使って調べる力を身につけることができるように、指導の重点に読書指導を位置づけ、学校全体で情報を共有しながら様々な手法で読書を推進していきます。また、研修や情報提供により、教員が読書に対する意識を高めることができるよう支援します。

- ・ 学校図書館が夏はとても暑く、冬は凍えるように寒く、読書を楽しむことができない。空調整備を強く希望する。

→ 必要性については十分に認識をしておりますが、設置につきましては、国・都の補助金等の動向を見極め総体的に判断した中で、教育環境の整備につとめてまいります。

第2章 6. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み（19ページ）についての意見

- ・ 「赤ちゃん絵本ひろば」に保健師がいてくれるとよいのではないかな。子どもの様子で気になることがある保護者が相談しやすい機会となり、おはなし会に来にくいと感じる親子も参加しやすくなるのではないかな。

→ 「赤ちゃん絵本ひろば」は、毎回いろいろなアプローチで絵本はもちろん、子育てが楽しくなるような企画をしています。今後も子育て支援の一助となるように企画内容を工夫していきます。

その他 図書館への意見

- ・ 東村山や久米川駅前に図書館を追加してみてもどうか。図書館中心の駅前、街づくりは市民の賛同を得られ、好事例として注目を浴びると思う。
- ・ 図書館に「お茶をする」ことができるスペースがあるとうれしい。カフェに行く、ついでに図書館で本を借りるというのが理想。

→ 図書館施設については、市の総合計画ならびに公共施設再生計画基本方針策定の中で、検討してまいります。

- ・ 本の履歴が預金通帳のように記入できるシステムで、満期になるとプレゼントがもらえる図書館がある。貸出が倍以上に増え、子どもたちが読んだ本を振り返ることができて素晴らしいと思う。

→ 現在の図書館システムにはない機能であるため、今後のシステム更新の際に、ほかのしくみや機能とあわせて検討させていただきます。

1. 計画をすすめていく体制

健全育成学習室(希望学級) (8ページ)

何らかの理由で登校の困難な児童・生徒に対し、学級復帰に向け、教育的支援と指導を目的とした通級学級。大岱小学校内にある。

ころころの森 (8ページ)

東村山市子育て総合支援センターの愛称。未就学の子ども（主に0～2歳）と保護者が集う出会いと交流の場。建物内に子育てひろばと東村山市ファミリー・サポート・センターがある。東村山市子どもNPOユニット運営。

子育てひろば (8ページ)

保育園や児童館等を利用して設けた乳幼児親子のための集いの場。子育てについての相談や講座などの支援も行う。東京都の施策のひとつとして各自治体で実施している。

ハローベビークラス (8ページ)

子育て支援課で実施している母親学級、両親学級。母親と家族が妊娠中をすこやかに過ごし、安心して出産や子育てができるように学ぶ講座。

おひさま広場 (8ページ)

乳幼児親子への子育て支援として、市内8か所の児童クラブの施設を曜日と時間を定めて開放したもの。身近な遊び場、保護者同士の交流の場として利用されている。

2. 市民協働のしくみづくり

乳幼児への読み聞かせボランティア (10ページ)

「子どもと本の人材バンク」に所属する個人登録のボランティア。乳幼児親子に市民の力で絵本の楽しさを届ける取り組みとして、読み聞かせボランティアを市立図書館のおはなし会、児童館、おひさま広場、子育てひろば、保育園、乳幼児健診会場、乳児学級などに派遣している。

3. 乳幼児への取り組み

病児保育室 (11ページ)

多摩北部医療センター内にある病児・病後児保育施設「森の病児保育室“たまほく”」をさす。病中または回復期にある児童（生後6か月～小学校3年生）の保育及び看護サービスを行う。平成25年11月1日開設。

くめがわ電車図書館（11ページ）

昭和42年市内美住町久米川公団内に西武鉄道の車体を利用し、子どものための地域文庫として開館。団地建て替えに伴い、平成13年には2代目の車両で再開館（車両は都市基盤整備公団より市に寄贈）。本の貸出や読み聞かせを中心に、地域の子どもや子どもに関わる大人たちの読書活動を支える地域コミュニティとして幅広い活動を展開している。

おすすめ絵本パック（11ページ）

市立図書館が選んだ乳幼児向けの絵本20冊のセット。市内の子ども関連施設に専用の箱に入れて設置し、訪れた親子が自由に絵本を楽しめるようにしている。

赤ちゃん絵本ひろば（11ページ）

中央図書館主催の0・1歳児とその保護者対象のおはなし会。「乳幼児への読み聞かせボランティア」が派遣されている。月1回市民センター2階で開催。

ボランティア活動記録シート（12ページ）

「子どもと本の人材バンク」の「乳幼児への読み聞かせボランティア」や登録団体が、市立図書館のおはなし会、児童館、おひさま広場、子育てひろば、保育園、乳幼児健診会場、乳児学級などで活動した際の記録用紙。

4. 小学生・中学生への取り組み

ブックトーク（15ページ）

ひとつのテーマにしたがって、数冊の本を順序立てて紹介すること。

ストーリーテリング（15ページ）

語り手が昔話などの物語を覚えて語ること。

子ども読書の日（15ページ）

国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられた日。「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日と定められている。

図鑑セット（16ページ）

小学校で図鑑の使い方について学ぶ授業をする際、二人一組で利用できるように、昆虫図鑑を20冊そろえてセット組みしたもの。必要に応じて市立図書館から特別貸出を行っている。

市教育研究会図書館部（17ページ）

学校の枠を超え、市立小中学校全教職員で構成する教科・領域等の専門性を追求する教育研究会の部のひとつ。図書館部は学校図書館や読書活動についての研究・実践を行っている。

分類ゲーム（17ページ）

学校図書館の分類のしくみを学び、調べ学習等において図書館活用力を育成するために市立図書館が考案した利用教材用のセット。

5. 高校生等（おおむね16～18歳）への取り組み

レファレンスサービス（18ページ）

何らかの情報を求める利用者の質問（参考質問）に対して、図書館員が回答の含まれる情報源などを提供するサービス。中央図書館には調べものに役立つ本を集めた「参考資料室」がある。

学生ボランティア（18ページ）

地域の学生（中学生以上）を対象として市立図書館が実施する「図書館学生ボランティア」事業。本の整理などを通してさまざまな本に親しみながら、居場所や社会経験の場として図書館を活用してもらおうことを目的としている。

6. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み

特別支援学級(固定学級)（19ページ）

何らかの原因で発達に遅れがある児童・生徒一人ひとりの実態や特性に応じ、その可能性を伸ばすための適切な教育と支援を行う学級。東村山市には、現在小学校6校、中学校4校に特別支援学級が設置されている。

特別支援学級(通級指導学級)（19ページ）

何らかの理由で通常の学校生活が困難な児童・生徒に対し、本来の力を十分発揮した学校生活を送れるよう支援することを目的とした学級。通常学級に在籍しながら、通級指導学級に通う。東村山市には、情緒障害・言語障害等を対象とした学級が小学校2校、中学校2校に設置されている。

東村山第三中学校萩山分校（19ページ）

都立萩山実務学校（児童自立支援施設）内にある市立中学校。

障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム（19ページ）

布の絵本とは、障害のある子どもたちが楽しみながら手指の機能訓練ができるように工夫された、「絵本」＋「遊具」。障害のある子どもが布の絵本を通してお話の世界に触れたり、障害児親子がゆったり遊べる居場所を増やすための取り組み。平成22年度から市立図書館主催で開催。

エプロンシアター（19ページ）

演じ手が胸当て式のエプロンを舞台に見立て、ポケットから次々と人形を取り出しながら物語を演じ、子どもの驚きと興味を引き出す手法。乳幼児教育研究所の中谷真弓氏考案。

7. 東村山の地域性を活かした取り組み

東村山市「いのちの教育」推進プラン（20ページ）

東村山市「いのちの教育」推進プラン策定協議会の報告書（平成14年）を踏まえて、次代を担う子どもたちに「いのちの大切さ」「人を思いやるこころ」を培うために実施する事業。

紙芝居サークル「原っぱ」（20ページ）

平成15年に市立図書館主催で開催された紙芝居の講座がきっかけとなり、平成16年に誕生したサークル。主に市立小中学校を中心に、いのちの大切さや人権をテーマにした紙芝居を上演している。

「いのちとこころの人権の森宣言」（20ページ）

平成21年に100周年を迎えた国立療養所多磨全生園の豊かな緑と人権の歴史を長く後世に伝えるため、東村山市が行った宣言。

「ハンセン病を知る本」コーナー（20ページ）

中央図書館と秋津図書館に設置。ハンセン病への理解を深めてもらうことを目的にハンセン病や全生園についての図書、パンフレット等を置いている。

「いのちとこころの本」コーナー（20ページ）

平成17年度に、当時の全生園の入所者自治会長平沢保治さんからのご寄附により、人権教育に役立てることを目的に市立小中学校図書館内に設置された。

東村山ものしりシート（20ページ）

東村山のことを子どもたちによく知ってもらうことを目的に、東村山に関連した情報をテーマに市立図書館が作成しているリーフレット。

第3次東村山市子ども読書活動推進計画

平成27年度～32年度

平成27年3月

発行 東村山市

編集 東村山市教育委員会教育部図書館（事務局）

問い合わせ先 東村山市立中央図書館

〒189-8501 東京都東村山市本町 1-1-10

TEL:042-394-2900 FAX:042-394-4107

Eメール:tosyokan@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

図書館ホームページアドレス:

<http://www.lib.city.higashimurayama.tokyo.jp>